

高知市夏季大学 年度別講師一覧（第1回～第60回）

第1回（昭和26年）

1951. 8. 1	人生観の確立について	高知女子大学長	岡本 重雄
8. 2	終戦後の国際関係の展望及び安全保障問題	京都大学教授・法学博士	田岡 良一
8. 3	高知市政を語る	高知市長	氏原 一郎
8. 4	政治50年	早稲田大学教授	入交 好脩
8. 6	日本文学における美と人間	高知大学教授	石津 純道
8. 7	天気図による台風予知法	高知測候所長	岡 四四亥
8. 7	高知県政を語る	高知県知事	桃井 直美
8. 8	人間は如何に生きべきか	医学博士	小田 静枝
8. 9	原子物理学の発展	高知大学教授	曾我部 清澄
8. 10	近代性を貫くもの	高知大学文理学部長	阿部 孝
8. 11	海と文化	東京水産大学教授・理学博士	宇田 道隆
8. 13	高知県における犯罪傾向	高知地方検察庁検事正	中島 英一
8. 14	高知県における最近の労働問題	前高知労働委員会会長	伊藤 一郎
8. 15	学校保健教育と日常生活の融合についての考察	高知大学教授・医学博士	小松 寿子
8. 16	条件反射と人生問題	中央病院長・医学博士	紫藤 貞一郎
8. 17	土佐水産業界の趨勢	県漁業協同組合連合会長	堀部 虎猪
8. 18	血液の生理学	国立仁井田療養所長	坂本 昭
8. 20	コオロギと日本文化	三重大大学教授・農学博士	大町 文衛
8. 21	人間と罪の問題	高知教会牧師	吉田 満穂
8. 21	民俗学の話	民俗学研究家	桂井 和雄
8. 22	仏教の話	竹林寺住職	海老塚 義隆
8. 22	国税の話	高知税務署長	武田 兼市
8. 23	日本最近の経済状況	日本銀行高知支店長	酒井 誠
8. 24	魚学雑話	高知大学教授・理学博士	蒲原 稔治
8. 25	人生と信仰	参議院議員	常岡 一郎
8. 27	自由の運命	神戸大学教育学部長	塩尻 公明
8. 28	文芸雑話	作家	田岡 典夫
8. 29	暖地農業	高知大学教授・農学博士	久保 佐土美
8. 30	短歌の話	NHK高知放送局長	安部 忠三
8. 30	音楽の話	町田病院長・医学博士	町田 昌直
8. 31	パリより帰って	文部省ユネスコ課長	西村 巖

第2回（昭和27年）

1952. 8. 1, 2	講和発効後の国際情勢	参議院議長補佐	島田 滋
8. 4	フランス文化と現代社会	大阪大学教授	宮本 正清
8. 5	米の話	県立農事試験場長	大津 太郎
8. 5	日本語の特質と国語問題の将来	高知女子大学教授	山崎 良幸
8. 6	社会主義社会の自由	名古屋大学教授	新村 猛
8. 7	アメリカ大統領選挙を中心として	リーダーズ・ダイジェスト編集長	福岡 誠一
8. 8	労働運動について	高知市長	氏原 一郎
8. 9	働く婦人の問題	労働省婦人労働課長	谷野 セツ
8. 10	世界平和運動について	参議院議員	高良 とみ
8. 11	水産研究の趨勢	南海区水産研究所長・理学博士	中村 広司
8. 11	俳句の話	共同通信社整理部次長	浜田 波川
8. 12	新しき刑事政策としての保護監察制度	高知保護監察所長	大島 恭龍
8. 12	自由と規律	慶応義塾大学教授	池田 潔
8. 13	畜産物と日常生活	農林省高知種畜牧場長	中松 喬三郎
8. 14	西洋美術の発展経路と美術の新使命	南山大学教授	ロージェ・パン・エック
8. 15	フランス文化の成立と最近の文学思想	南山大学教授	片岡 美智
8. 16	民主主義国家と共産主義国家との対立と日本の安全	渡辺経済研究所所長・八幡大学名誉学長・法学博士	渡辺 鏡蔵
8. 18	日米教育の対照	高知大学教育学部長	桜井 精兵
8. 18	独立日本の進路	広島大学学長	森戸 辰男
8. 19	土佐紙の話	県紙業試験場長	高橋 亨
8. 20	最近の極東情勢について	東京大学教授	高橋 勇治
8. 21	ドイツ文学と明治文学	高知大学教授	桜井 国隆
8. 21	魚の話	高知大学講師・理学博士	田中 茂穂
8. 23	精密機械工業の現状と将来	東京大学教授・工学博士	西村 源太郎
8. 25	軍需不景気論	京都大学教授・経済学博士	島 恭彦
8. 26	ソ連及び中共の実情	前参議院議員	帆足 計
8. 26	生活と美術	高知大学助教授	秦泉寺 正一
8. 27	日本の林業政策と土佐の山	高知営林局長	奥原 日出男
8. 28	国際情勢の戦略的分析	評論家	堀毛 一麿
8. 29	伝統と愛国心	東京教育大学教授	鈴木 成高

第3回（昭和28年）

1953. 8. 1	生活の倫理	芸術院会員・評論家	長谷川 如是閑
8. 2	現下国際情勢の背景	リーダーズ・ダイジェスト編集長	福岡 誠一
8. 2	ルーソーと現代	法政大学文学部教授	池島 重信
8. 2	原子力時代と日本	法政大学工学部長	加茂 正雄
8. 4	世界情勢	外務省情報文化局第1課長	中川 進
8. 6	原子爆撃の違法性に関する研究	関西大学法学部長	川上 敬逸
8. 8	医学者の見た欧米ところどころ	東京大学助教授・医学博士	島本 多喜雄
8. 9	映画教育特別講座	映画評論家	大黒 東洋士
8. 10	労働法学とイデオロギー	東京大学助教授	石川 吉右衛門
8. 12	中共の実情	元燕京大学講師	鳥居 幸子
8. 13	接客心理の研究	実業家	井上 慶吉
8. 14	社会と革命	京都大学名誉教授・文学博士	小島 祐馬
8. 15	今日に生きる倫理	京都大学名誉教授	天野 貞祐
8. 16	政治教育特別講座	各政党幹部	大橋 武夫・戸叶 武・ 三木 武夫・成田 知巳・
8. 18	社会保障	岩間 正男	近藤 文二
8. 20	愛国心	大阪市立大学商学部長	塩尻 公明
8. 22	ドイツの破壊と建設	神戸大学教育学部長	フランツ・ボッシュ
8. 23	音楽教育特別講座	上智大学教授	平井 康三郎・
8. 25	婦人と少年問題	音楽家	古城 九州男・
8. 26	日本経済の現状と将来	労働省婦人少年局長	後藤 正夫
8. 28	文学の話	立教大学教授	藤田 たき
8. 31	化学繊維	作家	宮川 実
		東洋レーヨン製造部次長	田宮 虎彦
			岡本 二三雄

第4回（昭和29年）

1954. 8. 1	平和と教育	広島大学学長	森戸 辰男
8. 2	赤十字社の国際活動	日本赤十字社	高木 武三郎
8. 3	歴史の見方	慶応義塾大学教授・文学博士	間崎 万里
8. 4	原子力の国際管理	朝日新聞社調査研究室長	田中 慎次郎
8. 5	時事解説	NHK解説委員	館野 守男
8. 6	日本の資源	東京大学教授・工学博士	安芸 皎一

8. 7	世界における日本文化の位置	法政大学文学部長	谷川 徹三
8. 8	最近の米国事情	前駐米特命全権大使	新木 栄吉
8. 9	ビキニの灰	東京大学理学部長	木村 健二郎
8. 10	第19国会を通過した重要法律	内閣法制局次長	林 修三
8. 11	我国民主主義の展望	公明選挙連盟会長	前田 多門
8. 12	婦人と人権	専修大学講師・人権擁護委員	田辺 繁子
8. 13, 14	北欧の事情	特命全権公使	結城 司郎次
8. 15	謡曲と仕舞	東京芸術大学講師	浅見 重信
8. 16	原水爆の理論	京都大学助教授・理学博士	井上 健
8. 17	性教育	文部省純潔教育審査委員・医学博士	山本 杉
8. 18	民衆と古典	日本大学教授	高木 市之助
8. 19	国際経済	国際商業会議所日本国内委員会副議長	加納 久朗
8. 21	大衆読物のあり方	作家	浜本 浩
8. 22	茶道	裏千家	千 宗興
8. 23	経済自立について	大阪大学経済学部長	高田 保馬
8. 24	雨及び海水の放射能	東京大学講師・理学博士	三宅 泰雄
8. 25	現下の政局	政治評論家	花見 達二
8. 26	宗教心	東京大学教授	花山 信勝
8. 27	文化財というもの	東京国立博物館次長	田内 静三
8. 28	原爆症	千葉医科大学教授・医学博士	寛 弘毅

第5回 (昭和30年)

1955. 8. 1	科学の話	北海道大学教授・理学博士	中谷 宇吉郎
8. 2	医薬品工業と新薬の動向	第一製薬生産部長	橋本 昶
8. 3	わが国古来の詩歌と現代詩	詩人	深尾 須磨子
8. 4	現代の美と芸術	京都大学・文学博士	井島 勉
8. 5	陶器の話	日本民芸館長	柳 宗悦
8. 6	地方制度	東京大学助教授	雄川 一郎
8. 8	日ソ交渉と日本の立場	東京大学教授・法学博士	横田 喜三郎
8. 9	国際経済開発と日本の立場	東京大学教授・法学博士	尾高 朝雄
8. 10	世界情勢	前インド大使	西山 勉
8. 11	新しい国造り	国土計画研究所長	田中 清一
8. 12	随筆から見た人世	一橋大学教授・理学博士	佐藤 弘
8. 13	碁の話	関西棋院九段	橋本 宇太郎

8.14	政治教育特別講座	衆議院議員	清瀬 一郎・和田 博雄
8.15	英国の社会保障	日本フェビアン研究所研究員	久保 まち子
8.16	国際政局の底流	NHK報道局長	前田 義徳
8.17	体育とスポーツ	文部省視学官	宮畑 虎雄
8.18	原子力の平和利用	科学研究所主任研究員・理学博士	山崎 文男
8.19	写真の話	東京写真大学講師	熊谷 辰男
8.20	真珠湾の回顧	宗教家	淵田 美津雄
8.23	時代は動く	日本女子社会教育会理事	小田 静枝
8.24	土に生きて10年	営農家	徳川 幹子
8.25	ロケット	東京大学生産技術研究所主任研究員・理学博士	糸川 英夫
8.26	現代アジアの動向（インド、中国、朝鮮を見て）	アジア民族親善協会常任理事	坂本 徳松
8.27	現下の人口問題	厚生省人口問題研究所	館 稔
8.29	ソ連の自然科学	京都大学教授・理学博士	宮地 伝三郎

第6回（昭和31年）

1956.8.1	民主々義の反省	広島大学学長	森戸 辰男
8.2	日本語の一面	NHK奈良放送局長	安部 忠三
8.3	二大政党の将来	拓殖大学総長	矢部 貞治
8.4	欧米を視察して（憲法と議会政治の本義）	前同志社大学総長	田畑 忍
8.5	話術の「間」（武蔵と梅軒）	話術家・随筆家	徳川 夢声
8.6	私の日本観	ロンドン大学東洋学部講師	R. P. ドーア
8.7	日本の時計は何時か	評論家	坂西 志保
8.8	美術漫談	医師・画家	宮田 重雄
8.9	南アジアと日本	外務省アジア局第4課長	服部 比左治
8.10	よみがえる民族の教育	神戸大学教授	森 信三
8.11	現代に於ける中国古典	京都大学教授・文学博士	吉川 幸次郎
8.12	マナスルに上って	マナスル第1陣登山者	今西 寿雄
8.13	小説の世界	作家	丸岡 明
8.14	人と芸術（古代仏像の芸術的形態）	東京芸術大学学長	上野 直昭
8.15	ソ連の実状	外務省事務官	松井 英一
8.16	世界経済の動き	東京教育大学教授・経済学博士	美濃部 亮吉
8.17	生活と健康	東京教育大学教授・医学博士	杉 靖三郎
8.17	時事解説	NHKニュース解説委員	藤瀬 五郎
8.20	化学繊維について	京都大学教授・工学博士	桜田 一郎

8.22	新郷土の建設	静岡大学講師・文学博士	加藤 仁平
8.23	ロシア革命以後（レーニンよりフルシチョフまで）	京都大学教授	猪木 正道
8.24	世界比較文化史	京都大学教授・文学博士	原 随園
8.25	生活改善について	実家	請井 雪子
8.27	第24国会に成立した法律について	内閣法制局長官	林 修三
8.27	日本と中共	読売新聞社編集局次長	高木 健夫
8.29	草花と活花	池坊大学教授	浅井 敬太郎

第7回（昭和32年）

1957.8.1	自由人の思想について	NHK会長・経済学博士	永田 清
8.2	相撲よもやま話	相撲評論家 神風こと	赤沢 正一
8.3	日本封建制の成立と部落問題	立命館大学教授	奈良本 辰也
8.4	古い中国と新しい中国	京都大学教授・文学博士	貝塚 茂樹
8.5	現代思想と生活記録運動	社会評論家	鶴見 和子
8.6	米・ソ・中共の科学事情	東京大学教授・理学博士	茅 誠司
8.7	放射能と原子力平和利用問題	立教大学教授・理学博士	武谷 三男
8.8	生活と音楽	音楽評論家	吉村 一夫
8.9	現代文学管見	小説家・僧職	今 東光
8.10	南極への航海	宗谷船長	松本 満次
8.12	今日の芸術	洋画家	岡本 太郎
8.13	高知市を解剖する	大阪市立大学教授・工学博士	中沢 誠一郎
8.14	文化と幸福	九州大学教授	高橋 義孝
8.15	最近の刑事裁判とジャーナリズム	弁護士	正木 ひろし
8.16	演劇の話	舞台芸術学院副学長・演出家	土方 与志
8.17	流行について	デザイナー	土方 梅子
8.18	結核について	結核予防会附属結核研究所長・医学博士	隈部 英雄
8.19	この頃の世相と教育の問題	朝日新聞論説委員	伊藤 昇
8.20	新しい世界の動き	NHK解説委員	小川 和夫
8.21	政局解剖と選挙	政治評論家	細川 隆元

第8回（昭和33年）

1958.8.1	野球放談	NHK野球解説者	小西 得郎
8.2	宇宙時代と原子力	名古屋大学教授・理学博士	坂田 昌一
8.3	売春防止法と今後の問題点	社会病理研究所長	神崎 清

8.4	川柳が見た世相	番傘川柳社会長	岸本 水府
8.5	男女の地位について	評論家	田中 寿美子
8.6	近代絵画について	洋画家・独立美術協会会員	海老原 喜之助
8.8	南極一年の生活体験	南極観測越冬隊長	西堀 栄三郎
8.9	国民生活と米の問題	京都大学名誉教授・農学博士	大槻 正男
8.11	近代芸術の断片化	NHK芸能局長	吉川 義雄
8.12	自由民権運動家としての馬場辰猪	東京大学法学部明治新聞雑誌文庫係長	西田 長寿
8.13	日本の生き方	朝日新聞論説委員	土屋 清
8.14	憲法の現状と将来	東京都立大学教授・法学博士	戒能 通孝
8.15	裁判と正義	作家	広津 和郎
8.16	内外から見た日本及び日本人	評論家	大宅 壮一
8.17	日本の音楽と西洋音楽	音楽評論家	山根 銀二
8.18	宗教の立場から見た今日の世相	法相宗管長・法相宗大本山薬師寺住職	橋本 凝胤
8.19	映画を見る目・つくる目	映画監督	亀井 文夫
8.20	癌を恐れるな	岡山大学医学部教授	陣内 傳之助
8.21	国際政局の中の日本	共同通信社政治部長	明峰 嘉夫
8.22	大阪と文学	作家	山崎 豊子

第9回 (昭和34年)

1959.8.1	核兵器実験の及ぼす影響について	東京教育大学教授・理学博士	三宅 泰雄
8.2	若い世代の文学	作家	大江 健三郎
8.3	台風予報の進歩	大阪管区气象台長・理学博士	大谷 東平
8.4	日本の政治 憲法・政党・選挙	明治大学政経学部教授	藤原 弘達
8.5	世界の人々	社会評論家・日本ペンクラブ事務局長	松岡 洋子
8.6	修行道と勝負道	将棋第14世名人	木村 義雄
8.7	現代芸術としての映画	映画評論家	岩崎 昶
8.8	独占資本と農業	東京大学経済学部助教授	大内 力
8.10	ソ連の実情と世界	共同通信社特信局長	飼手 誉四
8.11	女性の歩み	社会評論家	石垣 綾子
8.12	日本の教育	東京大学名誉教授・経済学博士	矢内原 忠雄
8.13	秋艸道人「会津八一博士」を憶う	歌人・国文学者	吉野 秀雄
8.14	転換点に立つ世界と日本の立場	九州大学法学部長・法学博士	具島 兼三郎
8.15	宇宙ロケット	東京大学工学部教授・工学博士	糸川 英夫
8.16	南極大陸の自然探究	前南極観測隊長・理学博士	永田 武

- 8.17 世界の中の日本演劇
- 8.18 日本の風土
- 8.19 生活環境の芸術化
- 8.20 山のこと

劇作家・明治大学教授
前『旅』編集長
千葉大学教授
東京外国語大学助教授

木下 順二
戸塚 文子
小寺 駿吉
串田 孫一

第10回 (昭和35年)

- 1960. 8.1 人格の問題
- 8.2 現代の宇宙観
- 8.3 アジア研究と日本
- 8.4 牙と幸福
- 8.5 日本経済はどうなるか
- 8.6 演劇の中での新劇の位置と意義
- 8.7 フランスと芸術
- 8.8 良識と勇氣
- 8.9 現時の国際問題と国連
- 8.10 現代二重の危機と日本
- 8.11 資本の自由化は証券市場にどう影響するか
- 8.12 女性の生活について
- 8.13 宇宙開発のロケットについて
- 8.14 現代日本政治における自衛隊の役割
- 8.15 文学と自由
- 8.16 映画の話を通じての私
- 8.17 山の話 (私の歩いてきた道)
- 8.18 抗生物質の研究とその影響
- 8.19 国連と婦人
- 8.20 原子力の平和的利用

文芸評論家
東京大学教授・東京天文台長
東京大学教授・文学博士
大阪市立大学助教授
東京教育大学教授・経済学博士
演出家
彫刻家
慶応義塾大学教授・評論家
成蹊大学教授
元京都大学教授・文学博士
野村証券専務取締役
評論家・作家
東京工業大学教授・工学博士
専修大学教授・政治評論家
作家
映画監督・女優
登山家
東大教授・医学博士・国立予防衛生研究所抗生物質部長
日本婦人有権者同盟会長
埼玉大学長・理学博士

小林 秀雄
宮地 政司
飯塚 浩二
梅棹 忠夫
美濃部 亮吉
村山 知義
高田 博厚
池田 潔
入江 啓四郎
久松 真一
沢村 正鹿
三宅 艶子
岡本 哲史
福島 新吾
椎名 麟三
望月 優子
黒田 初子
梅沢 浜夫
藤田 たき
藤岡 由夫

第11回 (昭和36年)

- 1961. 8.1 南極観測と今後の問題
- 8.2 歴史教科書と歴史観
- 8.3 レジャーと観光
- 8.4 何が農業基本問題か
- 8.5 現代映画の課題
- 8.6 アメリカの旅と文学

千葉大学助教授・第四次南極越冬隊長
東京教育大学教授
東京大学教授・日本観光協会専門委員
武蔵大学経済学部長・東京大学名誉教授
映画監督
作家

鳥居 鉄也
和歌森 太郎
加藤 誠平
近藤 康男
大島 渚
安岡 章太郎

- 8.7 日本作曲界における伝統音楽の問題
- 8.8 小児マヒとその対策
- 8.9 今日の短歌
- 8.10 消費革命とレジャー・ブーム
- 8.11 わが生涯からわりだした正しい要領
- 8.12 西から東へ来て
- 8.13 日本政治への反省
- 8.14 宇宙旅行と日本
- 8.15 人間の本質と教育
- 8.16 山と文学
- 8.17 経済成長政策とわれわれの生活
- 8.18 日本人の国民性について
- 8.19 日本語の将来
- 8.20 日本の民俗と地方文化

作曲家
 厚生省防疫課長
 歌人・「日本歌人」主宰
 横浜国立大学経済学部助教授
 映画俳優
 愛知大学独文科教授
 政治評論家
 日本宇宙旅行協会会長
 京都大学教育学部教授
 作家・登山家
 富士銀行調査部次長
 お茶の水女子大学教授
 慶応義塾大学教授・NHK解説委員
 民俗研究家

清瀬 保二
 高部 益男
 前川 佐美雄
 長洲 一二
 森繁 久弥
 佐野 えんね
 唐島 基智三
 原田 三夫
 下程 勇吉
 深田 久弥
 紅林 茂夫
 勝部 真長
 池田 弥三郎
 宮本 常一

第12回（昭和37年）

- 1962. 8.1 文明の発展と東洋思想
- 8.2 冷たい平和の時代
- 8.3 ニホンザル・類人猿・人間
- 8.4 その日の俳句
- 8.5 日本の貿易自由化とE E C
- 8.6 伝統と進歩 イギリスについて考える
- 8.7 原爆実験による放射能の問題
- 8.8 夫婦間の財産関係
- 8.9 映像と現代文明についてのぼくなり意見
- 8.10 人権の現状について
- 8.11 このごろ考えること
- 8.12 現代絵画の課題
- 8.13 文学と地方色
- 8.14 野球の本質とその進歩
- 8.15 国語・国字問題について
- 8.16 精神病理学と現代
- 8.17 碁の勝負と人生
- 8.18 現代社会と音楽（民衆音楽と芸術音楽）

東京大学教授・文学博士
 共同通信特信局長
 京都大学教授・アフリカ類人猿探検隊長
 俳人
 京都大学教授・経済学博士
 東京工業大学助教授
 立教大学教授・理学博士
 明治大学教授・法学博士
 映画監督
 弁護士・自由人権協会事務局長
 作家
 画家
 作家
 パシフィック・リーグ会長
 お茶の水女子大学教授・文学博士
 東京医科歯科大学教授・医学博士
 本因坊九段
 音楽評論家

中村 元
 坂田 二郎
 今西 錦司
 中村 汀女
 松井 清
 永井 道雄
 田島 英三
 立石 芳枝
 羽仁 進
 森川 金寿
 小田 実
 朝倉 撰
 円地 文子
 中沢 不二雄
 江湖山 恒明
 島崎 敏樹
 坂田 栄寿
 園部 三郎

8.19 世界海洋資源の開拓と将来

東京水産大学教授・理学博士

宇田 道隆

第13回 (昭和38年)

1963. 8.1 宇宙科学とは何か

東京大学教授・理学博士

畑中 武夫

8.2 学問・教育の問題状況

東京大学教授

宗像 誠也

8.3 物の考えかたについて

文芸評論家

竹山 道雄

8.4 東京オリンピックを前にして

オリンピック強化本部副部長

南部 忠平

8.5 日本映画と外国映画

映画評論家

津村 秀夫

8.6 日本の石油化学工業水準

日本触媒化学工業社長

八谷 泰造

8.7 人間の目・文学の目

作家

開高 健

8.8 冷たい戦争のかけひき

外務省情報文化局長

曾野 明

8.9 南米事情

前アルゼンチン大使

津田 正夫

8.10 ド・ゴールのフランスと世界

前読売新聞論説副主筆・評論家

松尾 邦之助

8.11 最近におけるビタミンB₁の進歩

京都大学教授・医学博士

藤原 元典

8.12 現代日本文化について

文芸評論家

福田 恆存

8.13 酒と人生

前理化学研究所副理事長・農学博士

坂口 謹一郎

8.14 造船技術と熔接技術の最近の進歩

東京大学教授・工学博士

木原 博

8.15 現代中国芸術の動向

東京大学教授・文学博士

小野 忍

8.16 美術雑話

美術評論家

太田 三吉

8.17 動物の生活と人生

前東京上野動物園長・農学博士

古賀 忠道

8.18 近代医学と医療制度

日本医師会々長

武見 太郎

8.19 日本の服飾

東京国立博物館染織室長

山辺 知行

8.20 ヨーロッパを見て日本を語る

長門美保歌劇団主宰・オペラ歌手

長門 美保

第14回 (昭和39年)

1964. 8.1 文学の古さと新しさ

明治大学教授・文学評論家

中村 光夫

8.2 素粒子の世界

京都大学教授・理学博士

小林 稔

8.3 東欧共産圏の現状

評論家

角田 房子

8.4 中ソ対立と日本の将来

京都大学教授・法学博士

猪木 正道

8.5 歌舞伎の今昔

歌舞伎俳優

片岡 仁左衛門

8.6 日本美術の特性

国立近代美術館次長・美術評論家

河北 倫明

8.7 日本人の朝鮮観

東京都立大学教授

旗田 巍

8.8 オリンピックを支える精神

スポーツ評論家

川本 信正

8.10 日本語混乱

音楽評論家

小島 正雄

8.11	中共をめぐる国際情勢	朝日新聞論説委員	仁尾 一郎
8.12	激動する東南アジア	NHK外信部副部長	江上 幸雄
8.13	「竜馬がゆく」取材話など	作家	司馬 遼太郎
8.14	激動するアジア情勢	毎日新聞外信部長	大森 実
8.15	スポーツと人生	日本水泳連盟常務理事・選手強化対策本部員	古橋 広之進
8.16	俳句と生活など	俳人	高浜 年尾
8.17	これからの家庭と家庭教育	教育評論家	重松 敬一
8.18	新聞と世論	評論家	古谷 糸子
8.19	家計の社会性について	国学院大学教授	飯塚 重威
8.20	大脳生理学の最近の進歩	慶応義塾大学教授・医学博士・作家	林 譚

第15回 (昭和40年)

1965.8.1	戦後の流れと戦後思想	評論家	山田 宗睦
8.2	現代の美術	名古屋大学講師・美術評論家	針生 一郎
8.3	文学の故郷 文学散歩とは何か	成城大学講師・作家	野田 宇太郎
8.4	子どもをかしこく育てる順序 戦後の教育史にふれながら	明星学園中学教諭・教育評論家	無着 成恭
8.5	生活と小説	作家	曾野 綾子
8.6	日本の黄金時代	日本大学芸術学部助教授・作家	三浦 朱門
8.7	アジアの中の日本	立教大学助教授・文芸評論家	村松 剛
8.8	戦後20年の国際情勢	共同通信社編集局長	岩立 一郎
8.9	私の見たこと聞いたこと	雑誌『酒』主宰	佐々木 久子
8.11	国際経済の発展と日本の立場	日本銀行欧米調査課長	鈴木 浩次
8.12	米ソの宇宙開発と日本のロケット	NHK解説委員	村野 賢哉
8.13	ベトナムを中心とした世界情勢	NHK外信部長	緒方 彰
8.14	市民として憲法改正問題をどう考える	成蹊大学教授・法学博士・憲法問題調査会専門委員	佐藤 功
8.15	日本美術の伝統	前東京国立文化財研究所長	田中 一松
8.16	小説を書くまで	作家	田宮 虎彦
8.17	現代のエチケット	社会評論家	福島 慶子

第16回 (昭和41年)

1966.8.1	映画と私	日本映画監督協会理事長	五所 平之助
8.2	花と人間	安達式插花家元	安達 瞳子
8.3	日本における古代オリエント学の発達について	日本オリエント学会会長・東京女子大学講師	三笠宮 崇仁
8.4	日本経済の現状と将来	一橋大学経済学部助教授	坂本 二郎

8.5	日本人の起源	帝塚山大学文化人類学研究室	金関 丈夫
8.6	日本の回復と新しい家庭の未来像	京都大学教授	会田 雄次
8.7	近代日本美術の100年	神奈川県立近代美術館長	土方 定一
8.8	中国の核武装と日本	科学評論家	岸田 純之助
8.10	ベトナムを中心とした国際情勢	共同通信社編集局次長兼外信部長	太田 康正
8.11	社会の病と個人の病	医師・作家	なだ いなだ
8.12	福沢諭吉の女性論	慶応義塾大学文学部教授・文芸評論家	奥野 信太郎
8.13	欧米諸国並びにわが国におけるスポーツと社会体育について	前オリンピック選手・日本体操協会技術実行委員	小野 喬
8.14	明治後100年の業績と今後の問題	京都大学法学部助教授	高坂 正堯
8.15	日本100年の思想状況（事実と思想）	評論家	笠 信太郎
8.16	どうすれば「政治」はよくなるか	評論家	笠 信太郎
8.16	文学・生活・自然	芥川賞受賞作家・共同通信社大阪支社記者	高井 有一
8.17	社会人類学・序論	東京大学助教授	中根 千枝

第17回（昭和42年）

1967.8.1	いまの飛行機	日本大学教授	木村 秀政
8.2	文学と歴史の間	作家	永井 路子
8.3	世界と日本	ジャパントイズ社長 共同通信社長	福島 慎太郎
8.4	政治と人間	東京大学教授	辻 清明
8.5	工芸文化 美しい暮らし方	倉敷民芸館長	外村 吉之介
8.6	中国の文化革命とそのゆくえ	共同通信社政治部長	斉藤 忠夫
8.7	最近思うこと	作家	戸川 昌子
8.8	いどばた経済学	作家	邸 永漢
8.9	いろはにほへと	詩人	寺山 修司
8.10	転換期の現代芸術	美術評論家	中原 佑介
8.11	日章旗を上げるまで	元オリンピック選手	兵藤 秀子
8.13	明治維新と中国革命	評論家	竹内 好
8.14	日本経済のこれまでとこれから	NHK解説委員	山田 亮三
8.15	日本人の精神構造	埼玉大学教授	石田 英一郎
8.16	私たちの周囲	映画監督	松山 善三
8.17	言葉と数学	東京工業大学教授	矢野 健太郎

第18回（昭和43年）

1968. 8. 1	中江兆民と馬場辰猪	歴史家	萩原 延寿
8. 2	日本百年の歩み	立教大学講師	大久保 利謙
8. 3	こんにちはみなさん	テレビ作家	永 六輔
8. 4	日本経済の現状と将来	日本経済研究センター理事長	大来 佐武郎
8. 5	国際情勢について	日本新聞協会事務局長	江尻 進
8. 6	日本列島の未来と郷土（高知県）の課題	千葉大学教授	清水 馨八郎
8. 7	洋画百年の歩み	ブリジストン美術館長	嘉門 安雄
8. 8	コンピューター社会の未来像	日本電子計算開発協会理事	増田 米二
8. 9	米と米価	東京大学	大内 力
8. 10	日本映画にあらわれた美意識	映画監督	篠田 正浩
8. 12	ベトナム交渉とベトナム以後の世界	NHK解説委員	木村 錠一
8. 13	日本の髪	東京国立博物館技官	橋本 澄子
8. 14	ナショナリズムの諸問題	作家	五木 寛之
8. 15	戦後日本の男性対女性	中央公論社編集局長	三枝 佐枝子
8. 17	演劇のうらおもて	演劇評論家	戸板 康二
8. 18	音楽と世相もつと歌の心を知ろう	ジャズ評論家	湯川 れい子

第19回（昭和44年）

1969. 8. 1	沖縄のこころ	作家	大城 立裕
8. 2	舞台とともに	歌舞伎俳優	坂東 三津五郎
8. 3	日中問題について	日中覚書貿易事務所代表	岡崎 嘉平太
8. 4	人間の目 レンズの日	写真家	岩宮 武二
8. 5	世界のバランス	軍事評論家	小山内 宏
8. 6	映像の時代	映画評論家	荻 昌弘
8. 7	文芸雑感	作家	陳 舜臣
8. 8	生まれ変わる主婦	評論家	俵 萌子
8. 9	国際情勢について	NHK解説委員	岡村 和夫
8. 11	四国総合開発について	四国電力会長	中川 以良
8. 12	日本の政治と外交	代議士	宇都宮 徳馬
8. 13	健康と制度	医事評論家	水野 肇
8. 14	書とこころ	書家	篠田 桃紅
8. 15	宇宙における人間生活	東京大学医学部教授	大島 正光
8. 17	詩と生活	詩人	高田 敏子
8. 18	新良妻賢母	俳人	楠本 憲吉

第20回 (昭和45年)

1970. 8. 1	日本演劇の反省と進路	歌舞伎俳優	中村 芝鶴
8. 2	世界政治と日本	ザ・オーストラリアン紙記者	グレゴリー・クラーク
8. 3	人間解放の道を求めて	京都大学助教授	上田 正昭
8. 4	富国のつぎに来るもの	評論家	草柳 大蔵
8. 5	海洋開発について	東京水産大学教授	佐々木 忠義
8. 6	生活と音楽	作曲家	高木 東六
8. 7	いまの家庭、これからの家庭	NHKアナウンサー	鈴木 健二
8. 8	激動のワシントン4年間	共同通信社編集局次長	石塚 博
8. 10	私を支えるもの	俳人	野沢 節子
8. 11	都市の未来像	京都大学助教授	上田 篤
8. 12	現代における価値の断絶	森下仁丹社長	森下 泰
8. 13	70年代の日本経済の展望	法政大学教授	力石 定一
8. 14	素顔の日本	元アルゼンチン大使	河崎 一郎
8. 15	映画の現代と将来	映画監督	中平 康
8. 16	私の知っている日本	テレビタレント	イーデス・ハンソン
8. 17	子供はこう変わりつつある (現代っ子の教育と未来)	児童文化評論家	阿部 進

第21回 (昭和46年)

1971. 8. 1	花と生活	草月流副会長	勅使河原 霞
8. 2	現代の「生きがい」論	評論家	草柳 大蔵
8. 3	公害と科学	東京大学助手	宇井 純
8. 4	現代と心 (禅窓)	天龍寺管長	関 牧翁
8. 5	日本はどう歩くだろうか	上智大学教授	蠟山 道雄
8. 6	アメリカとはどんな国か	評論家	竹村 健一
8. 7	今後の日本の教育	日本ユネスコ国内委員会事務総長	西田 亀久夫
8. 9	人間の連帯のために	ジャーナリスト	むの たけじ
8. 10	母として女優として	俳優	中村 メイコ
8. 11	現代ヤングの悩み	ディスク・ジョッキー	糸居 五郎
8. 12	オーケストラの秘密	音楽家	山本 直純
8. 13	中国問題について	日中国交回復促進議員連盟会長	藤山 愛一郎
8. 14	日本の放浪芸能と私	新劇俳優	小沢 昭一
8. 15	世界経済に占める円の地位	共同通信社編集局長	渡辺 孟次

8.16	高所砂漠と私	アタカマ高地探検隊長	向 一陽
8.17	歴史の中の女性たち	作家	杉本 苑子
8.18	イラストの世界	イラストレーター	横尾 忠則

第22回 (昭和47年)

1972. 8.1	私はアメリカを見た	評論家	桐島 洋子
8.2	私にかかわりのあること	作家	笹沢 左保
8.3	裏側からみた音楽論	音楽家	神津 善行
8.4	日本の宿題	評論家	草柳 大蔵
8.5	中国と日本	歴史家	貝塚 茂樹
8.6	トモさんのエゲレス留学		三笠宮 寛仁
8.7	中国問題を考える	東京外国語大学助教授	中嶋 嶺雄
8.8	封建社会の残したもの	歴史家	奈良本 辰也
8.9	日本人とマンガ的思考	マンガ家	手塚 治虫
8.10	生活学の提唱	建築評論家	川添 登
8.11	世界の中の日本経済	経済企画庁経済研究所次長	金森 久雄
8.12	日本人の姓と名	人名研究家	佐久間 英
8.13	現代社会をどうとらえるか	西武デパート社長	堤 清二
8.14	今後の社会と子供の教育	教育評論家	金沢 嘉市
8.14	わが国の環境問題	前環境庁長官	大石 武一
8.16	国際情勢の多極化と日本	共同通信社外信部長	石原 栄夫
8.17	人間生活と美術との社会的因果関係	兵庫県立近代美術館長	阪本 勝
8.18	地球をむしばむ公害	横浜国立大学助教授	宮脇 昭

第23回 (昭和48年)

1973. 8.1	日本経済と世界	法政大学教授	伊東 光晴
8.2	古墳と語る	東京大学教授	井上 光貞
8.3	参加民主主義の課題	東京大学教授	篠原 一
8.4	戦後教育の功罪	教育評論家	村松 喬
8.5	私のみてきた海外の婦人、子供	評論家	上坂 冬子
8.7	日本の美を求めて	日本画家	東山 魁夷
8.8	今日の政治と役人の功罪	合化労連委員長	太田 薫
8.9	同和問題を歴史の中で考える	大阪市立大学教授	原田 伴彦
8.10	市民運動と自治体	法政大学教授	松下 圭一

8.11	日本公害史（歴史は人をよぶ）	大阪市立大学教授	宮本 憲一
8.12	娯楽媒体としての劇画の位置	劇画家	小池 一雄
8.13	人間と食物との相関関係	農林省食品総合研究所官能検査研究室長	西丸 震哉
8.14	愛のある生活	池坊家元夫人	池坊 保子
8.15	戦争体験と私の文学	作家	島尾 敏雄
8.16	アジアと日本	共同通信社外信部長	原 寿雄
8.17	文学修行の条件、私の場合	作家	宮尾 登美子

第24回（昭和49年）

1974. 8.1	言葉について	劇作家	井上 ひさし
8.2	都市政策にみる同和問題	東京都立大学名誉教授	磯村 英一
8.3	科学の心	東京教育大学名誉教授	朝永 振一郎
8.4	生きがいは	作家	藤原 てい
8.5	これからの経済生活を考える	横浜国立大学教授	長洲 一二
8.6	くらしの中の禅	竜源寺住職	松原 泰道
8.7	勝負を支えるものは何か	スポーツ評論家	近藤 唯之
8.8	女の眼から見た歴史	作家	安西 篤子
8.9	今後の政局と外交の見方	共同通信社政治部長	遠藤 勝巳
8.11	日本人の感覚と知性	作曲家	團 伊玖磨
8.12	サルから人類へ	前岐阜大学長	今西 錦司
8.13	現代女の一生	評論家	樋口 恵子
8.14	現代科学技術と公害	科学評論家	星野 芳郎
8.15	中東という世界	山本書店店主	山本 七平
8.16	現代国際政治の展望	東京大学教授	関 寛治
8.17	過去と現在と	作家	星 新一

第25回（昭和50年）

1975. 8.1	人間の尊厳のために 自由と平等と連帯と	朝日新聞大阪本社編集局次長	平野 一郎
8.3	南極旅行など	斎藤茂吉氏夫人	斎藤 輝子
8.4	日本人の知恵	国学院大学教授	樋口 清之
8.5	花のころ	華道小原流家元	小原 豊雲
8.6	将棋と人生	永世王将	大山 康晴
8.7	子どものあそびと科学	絵本作家	加古 さとし
8.8	私の婦人運動	参議院議員	市川 房枝

- 8.9 これからのエネルギー問題
- 8.10 歌舞伎芸談
- 8.11 これからの経済とわれわれの生活
- 8.12 海と私と寺田寅彦先生
- 8.13 授業の可能性
- 8.14 昨日の事、今日の事、明日の事
- 8.15 食品汚染 生存基盤を崩壊させるもの
- 8.16 インドシナ情勢と日本

横浜国立大学工学部教授
 歌舞伎俳優
 全国サラリーマン同盟代表委員
 東海大学海洋学部教授
 教育評論家
 タレント
 東京大学医学部講師
 共同通信社外信部長

太田 時男
 河原崎 国太郎
 青木 茂
 宇田 道隆
 斎藤 喜博
 岸 ユキ
 高橋 暁正
 亀山 旭

第26回 (昭和51年)

- 1976. 8.1 これからの日本経済
- 8.2 魚の感覚は人間より鋭い
- 8.3 柿本人麿の芸術
- 8.4 ロッキード事件の意味するもの
- 8.5 わが人生
- 8.6 精神医学的日本人論
- 8.7 ロッキード事件と日本の政治
- 8.8 いま医学に求められているもの
- 8.9 現代の若者
- 8.10 イメージと言葉 絵画の見方
- 8.11 日本人の物の見方と日本語
- 8.13 部落問題はなぜ国民的課題か
- 8.14 女性社会と男性社会
- 8.15 詩と人間
- 8.16 演技と人生
- 8.17 失われた空間

京都大学教授
 東京大学名誉教授
 哲学者・京都市立芸術大学学長
 ジャーナリスト
 作家
 精神科医
 共同通信社政治部長
 作家・医学博士
 評論家
 美術評論家
 学習院大学教授
 大阪教育大学教授
 中ピ連代表
 詩人
 劇作家
 東京外国語大学教授

宮崎 義一
 末廣 恭雄
 梅原 猛
 立花 隆
 森 敦
 斎藤 茂太
 笠原 三郎
 渡辺 淳一
 加藤 諦三
 高階 秀爾
 大野 晋
 盛田 嘉徳
 榎 美沙子
 田村 隆一
 山崎 正和
 山口 昌男

第27回 (昭和52年)

- 1977. 8.1 これからの日本経済
- 8.2 映画にひかれて
- 8.3 クラシック音楽は好き?
- 8.4 杜詩一首 (贈衛八处士)
- 8.4 狭山事件とわたし
- 8.6 住宅は誰の為にあるか

東京大学教授
 シナリオ作家
 指揮者・作曲家
 中国文学者
 直木賞作家
 建築家

内田 忠夫
 中島 丈博
 石丸 寛
 吉川 幸次郎
 佐木 隆三
 清家 清

- 8.7 これからの日本の政治
- 8.8 砂漠で考えたこと
- 8.9 アメリカの外交と日本
- 8.11 能と演劇
- 8.12 気象とくらし
- 8.13 歌のこころ
- 8.14 アルプスと私
- 8.15 百歳への挑戦は可能か
- 8.16 私の教育観
- 8.17 日本人らしく

共同通信社論説委員長
 評論家
 アメリカ研究家
 能楽師
 気象研究家
 歌人・作家
 登山家
 医事評論家
 映画評論家
 薬師寺管主

内田 健三
 森本 哲郎
 袖井 林二郎
 観世 寿夫
 根本 順吉
 塚本 邦雄
 今井 通子
 川上 武
 佐藤 忠男
 高田 好胤

第28回 (昭和53年)

- 1978. 7. 31 寺田寅彦先生と環境問題
- 8.1 ルーツと日本人
- 8.2 映画を創るということ
- 8.3 生活者が拓いた世界
- 8.4 ガンの予防
- 8.5 土俵の想い出
- 8.7 これからの日本経済とくらしの展望
- 8.8 今に生きる
- 8.10 とびだし放題90分
- 8.11 マルセル・デュシャンと現代美術
- 8.12 数学的なものの見方、考え方
- 8.13 人とのふれあい
- 8.14 人間の課題
- 8.15 日本外交と中国問題
- 8.16 国際経済情報と日本 (先進国首脳会議後の)
- 8.17 今・劇的なるものとは

地球物理学者
 作家
 映画監督
 評論家
 国立ガンセンター疫学部長
 相撲解説者
 経済学者
 作家
 漫画家
 美術評論家
 数学者
 作家
 宗教家
 広島女子大学学長
 共同通信社編集委員室長
 劇作家

和達 清夫
 安岡 章太郎
 山田 洋次
 森崎 和江
 平山 雄
 玉ノ海 梅吉
 力石 定一
 落合 恵子
 はら たいら
 東野 芳明
 広中 平祐
 藤本 義一
 横山 久安
 今堀 誠二
 吾郷 慶一
 つか こうへい

第29回 (昭和54年)

- 1979. 8. 1 私の人生、あなたの人生 芝居して、絵を描いてそして
- 8.2 チンパンジーの社会生活
- 8.3 迷児の演劇
- 8.4 文明の新次元を求めて

俳優
 上野動物園獣医師
 劇作家・演出家
 著述家

米倉 斉加年
 増井 光子
 唐 十郎
 草柳 大蔵

8.5	欧米と日本 社会・経営・人間の違いさまざま	千葉大学教授	伊東 光晴
8.6	進化する宇宙	東京大学教授	小尾 信彌
8.7	『ふたりごころ』と俳諧	俳人	金子 兜太
8.8	小説の個的可能性について アメリカ体験と小説	芥川賞作家	高橋 三千綱
8.10	日本人の心の底流	宗教思想家	紀野 一義
8.11	世界のなかの日本の子ども	イラストレーター	真鍋 博
8.12	三十歳の中国	共同通信社編集委員	福原 亨一
8.13	日本の政治と非武装主義	立教大学教授	神島 二郎
8.14	歴史に見る日本人の体質 80年代を展望する	上智大学教授	渡部 昇一
8.15	写真の楽しみ方	写真家	秋山 庄太郎
8.16	トリックの話	推理作家	山村 美紗
8.17	現代日本人と人間解放	社会学者	日高 六郎

第30回 (昭和55年)

1980.8.1	世界のなかの日本	東京大学教授	坂本 義和
8.2	発展途上国で考えたこと	エッセイスト	木村 治美
8.3	芝居の仕事とテレビの仕事	俳優	永井 智雄
8.4	禅と現代生活	花園大学学長	大森 曹玄
8.5	日本の経済安全保障	東京大学教授	公文 俊平
8.6	話ことばとしての日本語	演出家	浅利 慶太
8.7	与野党の80年代戦略と政治の在り方	共同通信社政治部長	田島 良雄
8.8	ファッションと人生の出会い パリの女性・日本の女性	ファッションデザイナー	君島 一郎
8.10	公害と私達の生き方	東京都公害研究所次長	田尻 宗昭
8.11	女の歴史と差別の歴史	女性研究家	もろさわ ようこ
8.12	紀貫之のしたこと	作家	竹西 寛子
8.13	世界の中の日本経済	経済企画庁事務次官	宮崎 勇
8.14	太陽系の探求	国立科学博物館理化学研究部長	村山 定男
8.15	文学の原型について	詩人・文芸評論家	吉本 隆明
8.16	笑いの世界 人生楽しく	落語芸術協会会長	桂 米丸
8.17	八〇年代の選択と価値観	著述家	草柳 大蔵

第31回 (昭和56年)

1981.8.1	日本古代国家の成立過程 5・6世紀の動乱と統合	岡山大学教授	直木 孝次郎
8.2	死角の中の子どもたち 非行の背景を追って	共同通信社編集委員	斎藤 茂男

- 8.3 スペインと私とイサベル女王とコロンブスと
- 8.4 「歎異抄」に学ぶ命の歓び
- 8.5 自由民権運動の今日的意義
- 8.6 福祉の心づくりと町づくり
- 8.7 露店市場から小説は始まる
- 8.8 真の国際化とは
- 8.10 中国 その体制と社会
- 8.11 芝居の中で考える 演技と演出
- 8.12 はじめにことばありき
- 8.13 政治と人間
- 8.14 カイコだけが絹を吐く 問題意識とは何か
- 8.15 私とあの戦争
- 8.16 日本の食糧問題
- 8.17 友人・先輩・恩師 水泳と私

- 上智大学講師
- 作家
- 作家
- 参議院議員
- 作家
- イエズス会日本管区長・前上智大学学長
- 京都大学人文科学研究所教授
- 俳優・演出家
- お茶の水女子大学教授
- 東京大学教授
- 評論家
- 作家
- 農政研究センター理事
- 元オリンピック水泳選手・住友セメント(株)専務

- 小西 章子
- 高 史明
- 井出 孫六
- 八代 英太
- 井上 光晴
- ヨゼフ・ピタウ
- 竹内 実
- 宇野 重吉
- 外山 滋比古
- 京極 純一
- 扇谷 正造
- 加賀 乙彦
- 並木 正吉
- 北村 久寿雄

第32回 (昭和57年)

- 1982.8.2 ロボットの話
- 8.3 二つの物差し
- 8.4 航空旅行と安全
- 8.5 懐石余話
- 8.6 現代生活と健康
- 8.7 他郷への想像
- 8.8 いま感じること
- 8.9 寺田寅彦 科学と人生
- 8.10 文学と教育
- 8.11 映画と人生
- 8.12 未知への道
- 8.13 遺伝子に教えられたこと
- 8.14 将棋雑感
- 8.15 プロ野球うらおもて
- 8.16 地方の時代の目ざすもの
- 8.17 暮らしとことば

- 松下通信工業常務
- 作家・早稲田大学教授
- 航空評論家
- 懐石料理研究家
- 佐久総合病院長
- 作家
- 俳優・ねむの木学園長
- 高知新聞社客員・元共同通信社常務理事
- 作家
- 映画評論家
- 登山家
- 三菱化成社会生命科学研究室長
- 棋士十段
- 野球解説者
- 評論家
- 京都府立大学教授

- 唐津 一
- 駒田 信二
- 関川 栄一郎
- 辻 嘉一
- 若月 俊一
- 中上 健次
- 宮城 まり子
- 山田 一郎
- 三好 京三
- 水野 晴郎
- 田部井 淳子
- 中村 桂子
- 加藤 一二三
- 江本 孟紀
- 富山 和子
- 寿岳 章子

第33回 (昭和58年)

1983. 8. 1	日本語の魅力	上智大学教授	金田一 春彦
8. 2	衛星通信と光通信	日本電信電話公社営業局調査役	中田 勲
8. 4	人権問題を考える	大阪市立大学名誉教授	原田 伴彦
8. 5	成熟社会の価値観	東京大学教授	木村 尚三郎
8. 6	東西交流秘話	詩人・評論家	松永 伍一
8. 8	新しい医学の流れ	大阪大学細胞工学センター所長	岡田 善雄
8. 9	人間は最高の風景	作家	村松 友視
8. 10	ピカソをめぐる	早稲田大学教授・美術評論家	坂崎 乙郎
8. 11	米関係の将来	東京女子大学教授	猿谷 要
8. 12	世界の中の日本経済	日本長期信用銀行調査部長	竹内 宏
8. 13	吉田首相を偲び日本の進路を考える	外務省顧問・プロ野球コミッショナー	下田 武三
8. 15	思春期の自立と親のあり方	思春期問題研究所所長	江幡 玲子
8. 17	日ソ映画・演劇のありかた	女優・演出家	岡田 嘉子
8. 18	経済記者30年	共同通信社国際局長	西崎 哲郎
8. 19	生きることと死ぬこと	浜松医科大学精神科教授	大原 健士郎

第34回 (昭和59年)

1984. 8. 1	これからの家族を考える	慶応義塾大学教授	岩男 寿美子
8. 2	ニューメディア時代をよむ	評論家	田原 総一朗
8. 3	宗教について	慶応義塾大学講師	村上 重良
8. 4	俺がやらねば誰がやる	京都市立伏見工業高等学校教諭・ラグビー部監督	山口 良治
8. 6	生き物としての人間	作家・自然観察会代表	加藤 幸子
8. 7	辺境の近代	日本キリスト教団横浜上星川教会牧師	太田 愛人
8. 8	人生の機微	京都工芸繊維大学学長	福井 謙一
8. 9	私の仕事	映画監督	新藤 兼人
8. 10	女優と私	俳優	乙羽 信子
8. 11	空海と現代	書家	榊 莫山
8. 13	デンマーク・アズ・ナンバーワン	婦人問題企画推進会議委員・評論家	高橋 展子
8. 14	意図された歴史・生きられた歴史	お茶の水女子大学教授	中内 敏夫
8. 15	土佐の中の朝鮮文化	作家	金 達寿
8. 16	孫悟空の謎	北海道大学教授	中野 美代子
8. 17	わたしと部落問題	福岡県同和教育研究協議会会長	林 力
8. 18	現代の語りべになるということ	作家	辺見 じゅん

第35回 (昭和60年)

1985. 8. 1	先端技術の人間学	放送大学教授	加藤 秀俊
8. 2	母の手	作家	太田 治子
8. 3	世紀の節目	東大寺長老	清水 公照
8. 5	人生80年時代のライフプラン	評論家	五代 利矢子
8. 6	事実と小説のあいだ	作家	佐木 隆三
8. 7	新日本型食生活を創る	フード・ドクター	東畑 朝子
8. 8	私の歩んだ道	中京大学体育学部助教授	室伏 重信
8. 9	戦後40年を思う 少女ターニャのことなど	作家	早乙女 勝元
8. 10	気象の物差し・人生の物差し 青い地球について考える	NHK解説委員	倉嶋 厚
8. 12	わが人生と文学	作家	中村 真一郎
8. 13	勝負の岐れ道 伝記的視点から	作家	小島 直記
8. 14	棋士からみた世相	棋聖・十段	米長 邦雄
8. 15	被差別民衆の担った文化と技術 部落の歴史を見直す	桃山学院大学学長	沖浦 和光
8. 16	日本経済をとり巻く国際政治情勢	評論家	秋元 秀雄
8. 17	現代女性考	作家	林 真理子
8. 19	坂本龍馬について	作家	宮地 佐一郎

第36回 (昭和61年)

1986. 8. 1	私の見てきた世界の話	作家	椎名 誠
8. 2	写真と私	写真家	沼田 早苗
8. 4	生活のなかから差別を考える	民俗研究家	小林 初枝
8. 6	口八丁手包丁	俳優	金子 信雄
8. 7	私の野球人生	前広島カープ監督	古葉 竹識
8. 8	仕事を通して見た現代	シナリオライター	山田 太一
8. 9	アイデアの誕生	作家	阿刀田 高
8. 10	文明としての日本	京都大学教授	矢野 暢
8. 11	高齢化社会と女性のライフコース	上智大学教授	目黒 依子
8. 12	世界の中の日本と女性	労働省婦人局長	佐藤 ギン子
8. 13	未来産業を見誤っていないか	三菱総合研究所会長	牧野 昇
8. 14	揺れる子どもの心をみつめて	教育評論家	遠藤 豊吉
8. 15	我が母・福祉に生きる	共生福祉財団理事長	尹 基
8. 16	放送タレント30年	放送タレント	三國 一朗
8. 18	解放神学をめぐる諸問題	共同通信社社長	酒井 新二

8.19 いま、日本人に問われるもの

ジャーナリスト

大宅 映子

第37回 (昭和62年)

- 1987. 8. 1 新人類と未来社会
- 8. 3 人情ふれあいのど自慢
- 8. 4 料理は愛情
- 8. 5 円とドル
- 8. 6 子どもたちの愛と悲しみ
- 8. 7 笑いの人生
- 8. 8 禅から現代への提言
- 8.10 現代社会とカウンセリング
- 8.11 たくましく老いる ボケない方法教えます
- 8.12 北海道で考える
- 8.13 演劇とコミュニケーション
- 8.14 人権問題へのアプローチ
- 8.15 日本の国際報道の特徴と問題点
- 8.17 自民党総裁選
- 8.18 20世紀の映像メディアとしての映画
- 8.19 愛はわが家から

評論家・ノンフィクション作家
NHKアナウンス室顧問
帝国ホテル料理長
山一証券経済研究所特別顧問
ノンフィクション作家
落語家 四代目
東福寺専門道場師家
東京カウンセリングセミナー会長
医の心を求め実践する会会長
脚本家・作家
劇作家・「NOISE」代表
大阪女子大学名誉教授
ジャーナリスト
共同通信社編集局次長
映画評論家
女優・鳥取女子短期大学客員教授

角間 隆
金子 辰雄
村上 信夫
吉野 俊彦
永畑 道子
三遊亭 金馬
福島 慶道
森戸 富仁子
早川 一光
倉本 聰
如月 小春
山吉 長
桜井 良子
高橋 誠
白井 佳夫
村松 英子

第38回 (昭和63年)

- 1988. 8. 1 米大統領選とその後の日米関係
- 8. 2 日本人と短歌
- 8. 3 人生如何に生きべきか
- 8. 4 体と心の健康
- 8. 5 歴史にみるまちづくりと人づくり
- 8. 6 車輪の下の子どもたち～子どもたちの人権を守る～
- 8. 8 ゆらぐ心の絆
- 8. 9 古代日本人の知恵と技術
- 8.10 自由化後の日本農業
- 8.11 海外の「普通の人」に学んだもの
- 8.12 テレビの話
- 8.13 バレーボールと私～限りなき挑戦～
- 8.15 私の心を歌にたくして

評論家
早稲田大学政経学部教授・歌人
全生庵住職
東京慈恵会医科大学学長
作家
弁護士・エッセイスト
慶応義塾大学医学部助教授
同志社大学文学部教授
千葉大学法経学部教授
評論家・コラムニスト
放送評論家
学習院大学講師
声楽家

石川 好
佐佐木 幸綱
平井 玄恭
阿部 正和
童門 冬二
渥美 雅子
小此木 啓吾
森 浩一
唯是 康彦
鷺津 美栄子
大森 幸男
三屋 裕子
島田 祐子

- 8.16 C & C時代の国際速報戦争
- 8.17 青春を語る
- 8.18 伝統と文化のクロスオーバー

共同通信社専務理事
作家
ライフ・コーディネーター

犬養 康彦
神津 カンナ
フランソワーズ・モレシヤン

第39回 (平成元年)

- 1989. 8.1 昔ばなし出逢いの旅
- 8.2 西川ヘレン人生ドラマ (女の夢、妻の願い、母の祈り)
- 8.3 走る
- 8.4 『夢』勝負と人生の波
- 8.5 なぜ母乳なのか
- 8.7 女性史の窓から
- 8.8 生きてきた道
- 8.9 ことば・声音・すがた
- 8.10 世界のスポーツ事情
- 8.11 テレビ!! うら・おもて
- 8.12 夢のエネルギー
- 8.14 相撲と私
- 8.15 国際社会日本と人権
- 8.16 命ががやいて
- 8.17 現代政治家を採点する
- 8.18 カメラを肩に見たこと考えたこと

俳優
西川きよし氏夫人
旭化成陸上部監督
将棋 (王位) 九段
国立岡山病院名誉院長
作家
女優
ノンフィクション作家
国際卓球連盟会長
日本テレビアナウンサー
作家
元・大関朝潮太郎
大阪市立大学教授
女優
法政大学教授
フォト・ジャーナリスト

山口 崇
西川 ヘレン
宗 茂
森 雞二
山内 逸郎
山崎 朋子
松島 トモ子
石牟礼 道子
荻村 伊智朗
福留 功男
長部 日出雄
山響 未弘
村越 末男
白川 和子
内田 健三
大石 芳野

第40回 (平成2年)

- 1990. 8.1 マッハ流人生エンジョイ術
- 8.2 私の視てきた世界
- 8.3 今を熱く伝える
- 8.4 世界を見る、地方を見る
- 8.6 人間に光あれ～女性史をとおして考える～
- 8.7 しなやかな精神
- 8.8 いのちとこころ
- 8.9 危機に立つソ連経済
- 8.10 動物に学ぶもの
- 8.11 私と柔道
- 8.13 豊かな時代の生き生き人生

タレント
写真家
NHKモーニングワイド・キャスター
出雲市長
女性史研究家
作家
龍源寺住職
評論家
上野動物園長
武蔵大学助手
(株)西友常務取締役

マッハ 文朱
野町 和嘉
松平 定知
岩國 哲人
もろさわ ようこ
瀧澤 美恵子
松原 哲明
森本 忠夫
中川 志郎
山口 香
坂本 春生

8.14	平安なる命の日々	作家	重兼 芳子
8.15	庭園の文化論	評論家	野田 正彰
8.16	まちづくりの新たなる時代に向けて	建築家	長谷川 逸子
8.17	こころの歌	声楽家	島田 祐子
8.18	ボクの青春は店番だった	作家	ねじめ 正一

第41回 (平成3年)

1991.8.1	ジョン万次郎と私	医師・医学博士	中浜 博
8.2	ほとけをまねて生きる－弘法大師空海の仏教－	宗教評論家	ひろ さちや
8.3	激動の世界を語る	NHK解説委員	飯田 健一
8.5	我が演歌的人生考	作曲家	船村 徹
8.6	本当の豊かさをめざして	前・熊本県知事	細川 護熙
8.7	最近の国際情勢について	東京大学東洋文化研究所助教授	田中 明彦
8.8	人と言葉、あれこれ	作家	有明 夏夫
8.9	ゆたかに生きるために－家族と人権－	評論家	吉武 輝子
8.10	世界のトイレ事情と日本の今後	慶応義塾大学名誉教授・日本トイレ協会会長	西岡 秀雄
8.12	立場というもの	俳優・日本映画俳優協会理事長	池部 良
8.13	家族生活と法律	弁護士・日本婦人法律家協会会長	鍛冶 千鶴子
8.14	B級ニュースの楽しみ方	コラムニスト	泉 麻人
8.15	ドラマと人生	脚本家・「演劇企画K」主宰	服部 ケイ
8.16	科学と文学－寅彦のことなど－	東京大学総長	有馬 朗人
8.17	幼い子の文学と絵本	作家	松谷 みよ子
8.19	アイハラ友子の「これしかない！幸運のつかみ方」	女優	アイハラ 友子

第42回 (平成4年)

1992.8.1	大河ドラマの英雄達を大いに語る	講談師	宝井 馬琴
8.3	冷戦後の新世界秩序を読む－激動のロシア情勢と日露関係－	青山学院大学教授	袴田 茂樹
8.5	文学とは	作家	大庭 みな子
8.6	シェイクスピアの人間学	東京大学名誉教授	小田島 雄志
8.7	新しい潮流	メディア・プロデューサー	残間 里江子
8.10	聖徳太子はいま	京都府立大学学長	門脇 禎二
8.11	ヨット世界一周の旅	世界一周ヨットマン	迫 正人
8.12	明治の女に学ぶ－瞽女小林ハル、そして私の祖母－	エッセイスト	下重 暁子
8.13	私の見た政局政治	評論家	伊藤 昌哉

8.14	放送と言葉	NHKエグゼクティブ・アナウンサー	広瀬 久美子
8.15	なぜ西洋音楽なのか	作曲家	三枝 成彰
8.16	豊かな人生を求めてーくらしと町と国とー	埼玉大学教授	暉峻 淑子
8.17	歌のかがやく時	歌人	馬場 あき子
8.18	生きてゆく上での言葉	作家	大江 健三郎
8.19	日米摩擦ー異文化間コミュニケーションの視点からー	早稲田大学講師・東洋英和女学院大学専任講師	鳥飼 玖美子
8.20	アジアとつき合うー国際化とは何かー	NHKニュース“21”キャスター	園田 矢

第43回 (平成5年)

1993. 8.2	歌は世につれ、世は歌につれ	作曲家	小林 亜星
8.3	いつも歌があった	歌手	ペギー 葉山
8.4	ふるさと高知と文学	作家	大原 富枝
8.5	「清貧の思想」とは何か	作家	中野 孝次
8.6	21世紀へ向けて	京都大学名誉教授・評論家	森 毅
8.7	現代文学の傾向と対策	作家	高橋 源一郎
8.9	これからの政局のゆくえ	白鷗大学法学部教授	福岡 政行
8.10	出会いの旅	NHKチーフアナウンサー	山根 基世
8.11	「破戒」のモデル大江磯吉をめぐって	長野県解放教育研究会会長・東日本部落解放研究所評議員	東 栄蔵
8.12	風になった私ー単独無寄港世界一周278日ー	ヨットウーマン	今給黎 教子
8.13	未来に生きた土佐の人びとー龍馬・兆民・秋水ー	東京都立大学名誉教授・立命館大学名誉教授	塩田 庄兵衛
8.14	日本のユーモア「川柳」	イラストレーター	山藤 章二
8.16	世界地図の読み方ー日本人の国際感覚ー	『インサイダー』編集長	高野 孟
8.17	外から見た日本文化	コロンビア大学名誉教授・日本女子大学客員教授	ドナルド・キーン
8.18	そこでどう生きる	愛知専門尼僧堂特別尼僧堂堂長	青山 俊董
8.19	いごっそう為さん	タレント	上岡 龍太郎

第44回 (平成6年)

1994. 8.1	新しいふれあい社会	さわやか福祉推進センター所長・弁護士	堀田 力
8.2	八ヶ岳倶楽部 森と暮らす、森に学ぶ	俳優	柳生 博
8.3	宮本亜門の世界	演出家	宮本 亜門
8.4	変革の時代と日本の課題	日本大学教授・ニュースキャスター	新堀 俊明
8.5	「趣味人」とは誰のことをいうのかー人間らしく生きるためにー	立命館大学教授・上方芸能編集長	木津川 計
8.8	漫画生活60年	漫画家	横山 隆一
8.9	激動の政局、経済、世界	ジャーナリスト	寫 信彦

8.10	文学、出会いの旅	作家・慶応義塾大学助手	荻野 アンナ
8.11	幸せへの挑戦ー地域で支える高齢化社会ー	NHK解説委員	村田 幸子
8.12	日本の政治はどう変わるか	政治評論家	森田 実
8.15	土佐から全国制覇を夢見た男のロマンー長宗我部元親ー	共同通信社編集局・経済部長兼論説委員	長宗我部 友親
8.16	人間の誇りうるるとき	全国同和教育研究協議会常任委員・長野県同和教育推進協議会顧問	中山 英一
8.17	限界への挑戦	元全日本女子バレーボールチーム監督・現日立バレーボール教室専任指導員	生沼 スミエ
8.18	古書の楽しみ	作家・古書籍商	出久根 達郎
8.19	さまざまな人生を演じて	女優	赤木 春恵

第45回（平成7年）

1995.8.1	いま、生と死を考える	評論家・ノンフィクション作家	柳田 邦男
8.2	美しい日本の暮らし	女優	浜 美枝
8.3	人間、一生勉強	聖徳宗第5代管長・法隆寺第128世住職	高田 良信
8.4	心の対話を求めて	建築家	安藤 忠雄
8.7	戦後50年、国際社会と日本	NHK解説主幹	平野 次郎
8.8	常田富士男のあったか話	俳優	常田 富士男
8.9	広告に映る現代	『広告批評』編集長	島森 路子
8.10	相撲よもやま話	大相撲解説者	出羽錦 忠雄
8.11	万葉の恋	大阪大学名誉教授・甲南女子大学名誉教授	犬養 孝
8.14	世界の食と健康・長寿～実験医学とWHO研究からのメッセージ～	京都大学大学院教授・WHO国際共同研究センター長	家森 幸男
8.15	生命の感受性	作家・エッセイスト	落合 恵子
8.16	自信と夢をもって21世紀に向かうために	数学者・大道芸人	ピーター・フランクフル
8.17	無防備都市の悔恨～阪神大震災7か月の報告～	神戸新聞社常務取締役編集局長	山根 秀夫
8.18	近頃思うこと	作家	野坂 昭如
8.21	アンパンマンの正義	漫画家	やなせ たかし

第46回（平成8年）

1996.8.1	経済の論理・市民の論理	経済評論家	内橋 克人
8.2	新しい親子関係	国際日本文化研究センター所長	河合 隼雄
8.5	江戸へようこそ	江戸風俗研究家	杉浦 日向子
8.6	IN OUR NATUREー人間と自然との共生ー	作家	C.W.ニコル

- 8.7 泣いて笑って女の人生
- 8.8 オウム事件の分析
- 8.9 大デジタル革命と2001年のメディア
- 8.12 地球の志ー世界の中の日本の魅力ー
- 8.13 テレビのウソとホント
- 8.14 増田明美のマラソン時代そして今…
- 8.15 日本政治のこれからー21世紀をいかに迎えるかー
- 8.16 人の世話と自分の世話ー高齢社会を生き抜くためにー
- 8.19 人生いろいろ、人さまざま
- 8.20 あなた自身が輝いて
- 8.21 技術革新に生きた私の研究の道

漫才師
 駿河台大学教授・弁護士
 ノンフィクション作家
 女優・WILL国際文化交流センター代表
 『広告批評』発行人・コラムニスト
 スポーツライター
 北海道大学教授
 兵庫県立看護大学長
 エッセイスト
 弁護士
 筑波大学長

内海 好江
 河上 和雄
 山根 一眞
 中野 良子
 天野 祐吉
 増田 明美
 山口 二郎
 南 裕子
 山川 静夫
 福島 瑞穂
 江崎 玲於奈

第47回 (平成9年)

- 1997. 8.1 土佐人気質
- 8.4 人間性の原点ー霊長類の進化史から考えるー
- 8.5 日本の進路
- 8.6 笑ってよ、北極点
- 8.7 日本の昨日・今日・明日
- 8.8 悲しみの効用
- 8.11 自然の心・子どもの心
- 8.12 芭蕉について
- 8.13 私の相撲人生
- 8.14 心にとどく言葉を
- 8.15 音楽の楽しみ方
- 8.18 21世紀の科学の潮流ー複雑系と生命ー
- 8.19 版画の扉を開いて
- 8.20 心とからだの健康ー西野流呼吸法ー
- 8.21 発見の瞬間、実況中継

浜松医科大学名誉教授
 兵庫県立人と自然の博物館館長 元日本モンキーセンター所長
 (財)地方自治研究機構理事長 前内閣官房副長官
 女優
 ジャーナリスト
 作家
 作家
 国際日本文化研究センター名誉教授
 (財)日本相撲協会年寄 元大関琴風
 元NHKエグゼクティブアナウンサー
 作曲家
 日本物理学会会長 慶應義塾大学教授
 版画家
 女優
 数学者 東海大学教育研究所教授

大原 健士郎
 河合 雅雄
 石原 信雄
 和泉 雅子
 黒田 清
 五木 寛之
 灰谷 健次郎
 山折 哲雄
 尾車 浩一
 松田 輝雄
 宮川 泰
 米沢 富美子
 山本 容子
 由美 かおる
 秋山 仁

第48回 (平成10年)

- 1998. 8.3 地球の野生動物たち
- 8.4 古美術の見方・楽しみ方
- 8.5 選挙と世論と政局ー無党派の投票行動の分析もー

写真家
 古美術商・骨董屋からくさ店主
 NHK解説委員

岩合 光昭
 中島 誠之助
 河崎 曾一郎

- 8.6 日本の政治・経済を斬る
- 8.7 暮らしと科学・21世紀の潮流
- 8.10 昭和の家族
- 8.11 『少年H』で伝えたかったこと
- 8.12 夢～そして野球との出会い～
- 8.13 心の扉を開く～子供達のサインを見逃さないで～
- 8.14 言葉は暮らしの潤滑油
- 8.17 <本当の自分>はどこにある？
- 8.18 みんなの命輝くために
- 8.19 新世紀を迎える日本へのチャレンジ
- 8.20 恋の俳句
- 8.21 21世紀の日本経済像

経営コンサルタント
 岩手県立大学長
 演出家
 舞台美術家・エッセイスト
 プロ野球解説者
 歌手・法務省保護司
 NHKアナウンサー
 精神科医
 ジャーナリスト
 広島平和研究所長・前国連事務次長
 俳人
 評論家

大前 研一
 西澤 潤一
 久世 光彦
 妹尾 河童
 有藤 通世
 千葉 紘子
 黒田 あゆみ
 香山 リカ
 大谷 昭宏
 明石 康
 黛 まどか
 田中 直毅

第49回 (平成11年)

- 1999.8.2 エジプト文明からみた地球環境
- 8.3 宇宙はいかに生まれたか～現代の創世記～
- 8.4 脳の見方・心のゆくえ
- 8.5 OL委員会 涙と爆笑の10年
- 8.6 自己流に楽しむ
- 8.9 幸せって何だろう
- 8.10 政治はこれでいいのか
- 8.11 変わらない日本・変わらざるをえない日本
- 8.12 女も男も皆いきいき・男女共同参画社会
- 8.13 2002年ワールドカップとJリーグ百年構想
- 8.16 笑いある人生
- 8.17 成熟社会と若者たちの行方
- 8.18 さまざまなメッセージ～私の出会った素敵な人たち～
- 8.19 いま、日本を読む～政官財腐敗の構造～
- 8.20 老人力の誕生

早稲田大学教授
 東京大学教授
 北里大学教授
 OL委員会主宰・コラムニスト
 '95年度世界最優秀ソムリエ
 女優
 毎日新聞編集局顧問・政治評論家
 国際ビジネスコンサルタント
 講談師
 Jリーグチェアマン
 落語家
 東京都立大学助教授
 NHKエグゼクティブアナウンサー
 評論家
 画家・作家

吉村 作治
 佐藤 勝彦
 養老 孟司
 清水 ちなみ
 田崎 真也
 富士 真奈美
 岩見 隆夫
 ジョージ・フィールズ
 宝井 琴桜
 川淵 三郎
 三遊亭 楽太郎
 宮台 真司
 加賀美 幸子
 佐高 信
 赤瀬川 原平

第50回 (平成12年)

- 2000.8.1 穏やかな一日を創る
- 8.2 家族の絆
- 8.3 日本経済の新展開

映画監督
 作家
 慶應義塾大学教授

大林 宣彦
 澤地 久枝
 竹中 平蔵

8.4	土佐人について、私の思うこと	文筆家	坂東 眞砂子
8.7	超能力よりも面白い科学の神秘	早稲田大学教授	大槻 義彦
8.8	こころの歌～21世紀の子供たちへ	声楽家	島田 祐子
8.9	世界の中の日本—どうなるこれからの国際情勢—	元内閣安全保障室長	佐々 淳行
8.10	20世紀をふりかえって	放送タレント	永 六輔
8.11	男子の本懐、文士の本懐	作家	城山 三郎
8.14	戦争と感情	京都女子大学教授	野田 正彰
8.15	ダニエルの日米文化比較論	山形弁研究家	ダニエル・カール
8.16	20世紀の文学	評論家	加藤 周一
8.17	スポーツキャスターって何をしているのか	NHKアナウンサー	有働 由美子
8.18	僕の人生落語だよ！	落語家	林家 木久蔵
8.21	日本のマンガはなぜ世界にひろまったか	漫画家	里中 満智子

第51回（平成13年）

2001.8.1	テレビドラマの現場から	脚本家	内館 牧子
8.2	伝統演劇・狂言を生きる	狂言師	野村 万作
8.3	元気に老いる、楽しく生きる—人生100年時代の介護と家族—	ノンフィクション作家	沖藤 典子
8.6	地域を発展させるIT革命	東京大学教授	月尾 嘉男
8.7	食から見える世界	料理研究家・エッセイスト	小林 カツ代
8.8	縄紋人と私たち	考古学研究者	佐原 真
8.9	言葉はいのち	俳優	江守 徹
8.10	日本の政治経済の課題	慶應義塾大学教授	小林 良彰
8.13	メディアにおけるジェンダー	タレント	遙 洋子
8.14	子どもの危機をどう見るか—地域・家庭・学校の役割—	教育評論家	尾木 直樹
8.15	世界百名山を撮る	写真家	白川 義員
8.16	世界経済と日本経済の行方	中京大学教授・東海総合研究所理事長	水谷 研治
8.17	龍馬について	作家	津本 陽
8.20	ユーモアとコミュニケーション	落語家	立川 志の輔
8.21	土俵からみた人生	立行司29代木村庄之助	櫻井 春芳

第52回（平成14年）

2002.8.1	人生は意図を超えて—ノーベル化学賞への道—	名古屋大学大学院教授	野依 良治
8.2	日本経済の現状—底割れを防ぐ政策を—	慶應義塾大学教授	金子 勝

8.5	構造改革とはなにか	作家	猪瀬 直樹
8.6	ヨネスケのスポーツよもやま話	タレント	ヨネスケ
8.7	いのちの不思議	大阪大学総長	岸本 忠三
8.8	まわり道のススメ	女優・大阪府教育委員	三林 京子
8.9	江戸商人に学ぶ日本人の心	作家	山本 一力
8.12	ドラマと人生	脚本家	ジェームス三木
8.13	人間が輝くときーTVドキュメント・ニュース解説の出会いからー	ジャーナリスト・NHKニュース解説担当	福田 雅子
8.14	童謡は人生のパートナー	日本国際童謡館館長	大庭 照子
8.15	民族について知ろう	国立民族学博物館長	石毛 直道
8.16	人と出会う楽しさ	女優	吉行 和子
8.19	生きやすい生き方	歌手・俳優	美輪 明宏
8.20	私の冒険人生	冒険家	大場 満郎
8.21	楽しい人生	コメディアン	間 寛平

第53回（平成15年）

2003.8.1	イラク戦争後の新国際秩序ー日本の選択ー	東京大学大学院総合文化研究科教授	山内 昌之
8.4	勝者の思考法	スポーツジャーナリスト	二宮 清純
8.5	高知が生んだ江戸時代研究ー廣末保と江戸文学ー	法政大学社会学部教授	田中 優子
8.7	道草をくいながら	女優	岸田 今日子
8.11	国境なき医師団のこころー傍にることー	国境なき医師団日本会長	寺田 朗子
8.12	ありのまま、そのままに生きる	女優	真屋 順子
8.13	朝鮮半島情勢と日本外交	慶應義塾大学教授	小此木 政夫
8.14	戦後の放送芸能史	横浜にぎわい座館長	玉置 宏
8.15	死ぬための教養	作家	嵐山 光三郎
8.18	俳句列島日本すみずみ吟遊	俳人・俳誌「藍生」主宰	黒田 杏子
8.19	ニュートリノってなに？	高エネルギー加速器研究機構長	戸塚 洋二
8.20	動物園の歴史と社会的役割	東京都恩賜上野動物園長	菅谷 博
8.21	お笑いジェンダー論	東京大学大学院総合文化研究科助教授	瀬地山 角
8.22	大地からのメッセージ 今、どう生きる	エッセイスト・国際ラリースト・自然回帰型生活びと	山村 レイコ
8.25	プロジェクトXに見る日本人の底力	NHK「プロジェクトX」チーフ・プロデューサー	今井 彰

第54回（平成16年）

2004.8.2	音楽の心、文化の心	作曲家	池辺 晋一郎
----------	-----------	-----	--------

8.3	森と海が語る日本の未来	国際日本文化研究センター教授	安田 喜憲
8.4	海底下7,000mへの挑戦	海洋研究開発機構 地球深部探査センター長	平 朝彦
8.5	少子高齢社会をどう生きるか	一橋大学学長	石 弘光
8.6	泣いて、笑って、がんばって	エッセイスト	海老名 香葉子
8.9	創るモノは夜空にきらめく星の数ほど無限にある	株式会社海洋堂 代表取締役	宮脇 修
8.10	やさしく伝えることはむずかしいー週刊こどもニュースの現場からー	NHK「週刊こどもニュース」キャスター	池上 彰
8.11	さわやかな心 大切に	女優	日色 ともゑ
8.12	脳を知り、脳を育むー脳科学が教える脳の健康法ー	東北大学教授	川島 隆太
8.13	介護という人生ドラマをどう生きる？ー老後の自立のためにー	ノンフィクション作家	久田 恵
8.16	よろこびを力に…	マラソンランナー	有森 裕子
8.17	本物とニセモノーなんでも鑑定団の体験からー	西洋アンティーク評論家・鑑定士	岩崎 紘昌
8.18	世界潮流と日本の進路	株式会社三井物産戦略研究所所長・財団法人日本総合研究所理事長	寺島 実郎
8.19	縁起について	小説家・臨済宗僧侶	玄侑 宗久
8.20	変動する朝鮮半島情勢と日本	静岡県立大学国際関係学部教授	伊豆見 元

第55回 (平成17年)

2005.8.1	司馬遼太郎のこと	司馬遼太郎記念館館長	上村 洋行
8.2	舞え！北京の蝶々ー気づきによる自己変革ー	早稲田大学大学院公共経営研究科教授	北川 正恭
8.3	三浦雄一郎の元気力ー70歳エベレスト登頂ー	プロスキーヤー・クラーク記念国際高等学校校長	三浦 雄一郎
8.4	不揃いの木を組む	(株)鶴工舎舎主	小川 三夫
8.5	鳥を見て人を知る	山階鳥類研究所所長	山岸 哲
8.8	希望格差社会をめぐる	東京学芸大学教育学部教授	山田 昌弘
8.9	最近の中東情勢と日本	(財)中東調査会上席研究員	大野 元裕
8.10	鈴木史郎の健康道場	アナウンサー	鈴木 史郎
8.11	世界を結ぶ音楽の醍醐味	チェロ独奏家・作曲家	平井 丈一朗
8.12	写心気47	写真家	立木 義浩
8.15	夢はかならずかなう	元力士・大相撲解説者	舞の海 周平
8.16	次の南海地震で高知市街地の3分の1は海になるゾ	東京大学地震研究所助教授	都司 嘉宣
8.17	四国遍路に生かされてー過去から未来へー	種智院大学学長	瀬富 本宏
8.18	東洋と西洋の狭間ーイサム・ノグチの場合ー	ノンフィクション作家	ドウス 昌代
8.19	源氏物語に見る気象	フリーアナウンサー・気象予報士会会長	石井 和子

第55回（平成17年）

2005. 8. 1	司馬遼太郎のこと	司馬遼太郎記念館館長	上村 洋行
8. 2	舞え！北京の蝶々一気づきによる自己変革一	早稲田大学大学院公共経営研究科教授	北川 正恭
8. 3	三浦雄一郎の元気力ー70歳エベレスト登頂ー	プロスキーヤー・クラーク記念国際高等学校校長	三浦 雄一郎
8. 4	不揃いの木を組む	(株) 鶴工舎舎主	小川 三夫
8. 5	鳥を見て人を知る	山階鳥類研究所所長	山岸 哲
8. 8	希望格差社会をめぐるって	東京学芸大学教育学部教授	山田 昌弘
8. 9	最近の中東情勢と日本	(財) 中東調査会上席研究員	大野 元裕
8. 10	鈴木史郎の健康道場	アナウンサー	鈴木 史郎
8. 11	世界を結ぶ音楽の醍醐味	チェロ独奏家・作曲家	平井 丈一朗
8. 12	写心気47	写真家	立木 義浩
8. 15	夢はかならずかなう	元力士・大相撲解説者	舞の海 周平
8. 16	次の南海地震で高知市街地の3分の1は海になるゾ	東京大学地震研究所助教授	都司 嘉宣
8. 17	四国遍路に生かされてー過去から未来へー	種智院大学学長	瀬富 本宏
8. 18	東洋と西洋の狭間ーイサム・ノグチの場合ー	ノンフィクション作家	ドウス 昌代
8. 19	源氏物語に見る気象	フリーアナウンサー・気象予報士会会長	石井 和子

第56回（平成18年）

2006. 8. 1	テレビドラマのつくり手として	脚本家・作家	大石 静
8. 2	W杯、勝者を決めたもの	NHK解説主幹	山本 浩
8. 3	地球温暖化は何をもたらすか？温暖化は防げるのか？	名古屋大学大学院環境学研究科教授・国立環境研究所GOSATプロジェクト客員研究員	井上 元
8. 4	下流社会論	消費社会研究家	三浦 展
8. 7	脳と創造性	(株) ソニー・コンピュータサイエンス研究所・シニアリサーチャー	茂木 健一郎
8. 8	福祉は我が家から	タレント	西川 きよし
8. 9	風雲児の軌跡	弁護士・橋本綜合法律事務所長	橋本 徹
8. 10	魅力ある地域社会の創造力～高知経済の新たな価値	経済評論家	内橋 克人
8. 11	東北アジアと日本の再生	東京大学大学院情報学環教授	姜 尚中
8. 14	世界の山々をめざして	登山家	田部井 淳子
8. 15	芸能の力ー祝言と鎮魂	能プロデューサー・演出家	笠井 賢一
8. 16	自然に学ぶユニバーサルデザイン	(株) ユニバーサルデザイン総合研究所所長	赤池 学
8. 17	おばあちゃんと今の俺	パーソナリティー・タレント	島田 洋七
8. 18	～元気で長生き100歳食～長生きするための食事学入門	食文化研究家・食文化研究所長・西武文理大学客員教授	永山 久夫
8. 21	ポスト小泉と日本の課題	評論家・ジャーナリスト	立花 隆

第57回 (平成19年)

2007. 8. 1	心地よい日本語	杏林大学外国語学部教授	金田一 秀穂
8. 2	横山「隆」一さんと坂本「龍」馬さんー土佐を代表する二人の記念館に携わってー	(株)文化環境研究所所長	高橋 信裕
8. 3	どうなる今後の日本経済	獨協大学教授・経済アナリスト	森永 卓郎
8. 6	であい ふれあい ひびきあい～「のど自慢」12年の旅から～	元NHKアナウンサー	宮川 泰夫
8. 7	野球界の展望	野球解説者	与田 剛
8. 8	地方分権で私たちのまちはこう変わる	千葉大学法経学部長・教授	新藤 宗幸
8. 9	いつも何かにときめいていよう	女優	藤田 弓子
8. 10	笑いの医学的効果	中央群馬脳神経外科病院 理事長	中島 英雄
8. 13	化けものの博物館	作家	荒俣 宏
8. 14	今日よりもよい明日のために	ジャーナリスト	江川 紹子

第58回 (平成20年)

2008. 8. 1	コミュニケーション力と地域力	元NHKアナウンサー (現在フリーアナウンサー)	梶尾 正明
8. 4	情報が主役の時代ー情報のウラを読むー	読売テレビ解説員・芦屋大学客員教授	辛坊 治郎
8. 5	食の深意	料理家	辰巳 芳子
8. 6	蘇るドストエフスキーー『カラマーゾフの兄弟』と『罪と罰』の現代的意味について	東京外語大学長	亀山 郁夫
8. 7	生活の知恵と伝承	国立歴史民俗博物館副館長・教授・総合研究大学院大学教授	常光 徹
8. 8	輝く人生の生き方	聖路加国際病院理事長	日野原 重明
8. 11	品格のある社会、そして力強く、やさしく	昭和女子大学学長	坂東 眞理子
8. 12	江戸落語から見る人間観察とコミュニケーション	落語家	林家 正蔵
8. 13	地方が変われば日本が変わる	慶應義塾大学教授	浅野 史郎
8. 14	脳を鍛える活脳トレーニング	諏訪東京理科大学共通教育センター教授	篠原 菊紀

第59回 (平成21年)

2009. 7. 27	不況に負けない家計をつくろう！	経済ジャーナリスト	荻原 博子
7. 28	子どもを伸ばす親力とは？	教育評論家	親野 智可等
7. 29	KONISHIKIの歩	元大関・タレント	KONISHIKI
7. 30	オバマ改革が目指すものと日本の針路	外交ジャーナリスト・作家	手嶋 龍一
7. 31	浮世絵から学ぶニッポン	映画監督／早稲田大学特命教授	篠田 正浩
8. 3	字幕の中に人生	映画字幕翻訳者	戸田 奈津子

- 8.4 夢をかなえるために～世界挑戦の40日間～
- 8.5 空を見よう
- 8.6 食育のすすめー大切なものを失った日本人ー
- 8.7 生きる意味ってなんだろう？

NHK野球解説者
俳優・気象予報士
(学)服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長／旭川市旭山動物園 名誉園長

伊東 勤
石原 良純
医学博士 服部 幸應
小管 正夫

第60回 (平成22年)

2010. 7.26 食からはじまる地域づくり
- 7.27 板東英二のがむしゃら人生
 - 7.28 世界がもし100人の村だったら
 - 7.29 どうなる！日本の政治！
 - 7.30 土佐のかあさん
 - 8.2 富士山から日本を変える
 - 8.3 龍馬に学ぶ
 - 8.4 おとなの知らない子どもの世界
 - 8.5 高知の民俗宗教の魅力
 - 8.6 現代日本の閉塞感突破のために

アル・ケッチャーノ オーナーシェフ
タレント・野球解説者
作家・翻訳家
福山大学客員教授・「民権塾」塾長
漫画家
アルピニスト
霊山歴史館学芸課長
作家
国際日本文化研究センター教授
反貧困ネットワーク事務局長

奥田 政行
板東 英二
池田 香代子
田中 秀征
西原 理恵子
野口 健
木村 幸比古
石川 結貴
小松 和彦
湯浅 誠